

研究区分	学部研究推進
------	--------

研 究 テーマ	コンケン大学看護学部および米国他大学の国際交流に関する研究				
研究組織	代 表 者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	竹熊カツマタ 麻子
	研究協力者	所属・職名		氏名	看護学部教員全員
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	竹熊カツマタ 麻子

講演題目
コンケン大学看護学部および米国他大学の国際交流に関する研究
研究の目的、成果及び今後の展望
本プロジェクトの目的は静岡県立大学看護学部における国際化の促進、海外の協定校との教育・学術交流を推進することにある。令和7年度は2件の大学間協定校、1件の学部間協定校、大学間の協交流を進めている米国の2校との交流を行うことが出来た。具体的な成果と今後の展望について以下に述べる。 コンケン大学看護学部(タイ王国)：コンケン大学看護学部との交流は、学生の短期留学生4名の受け入れ、本学学生4名の派遣、教員1名の海外研修(派遣)を実施することができた。教員の受け入れも2回、助産領域から1名、小児領域から1名、研究科においては小児領域の大学院生2名が看護学部を訪問、短期留学プログラムの評価、学生との学習活動の振り返り、教員及び学生との学術交流を行った。11月にはコンケン大学において国際看護学会が開催され、学部生2名、卒業生1名が発表、教員1名が招聘講演、教員1名が演題発表を行い、活発な学術教育交流が継続している。 聖アンソニー看護大学、ウィスコンシン大学マディソン校 (米国)：令和7年度は聖アンソニー看護大学から教員1名が5月に、ウィスコンシン大学マディソン校看護学部から教員が1名本学部に来校した。特に、研究科学生への研究についての助言、教員による学術・教育に関する意見交換、懇談を行った。 慶熙大学看護学部(韓国)：令和6年度に慶熙大学看護学部との学術教育協定が締結されたことを機に、慶熙大学看護学部の大学院レベルでの学術教育交流が始まった。10月21日~24日に研究科修士課程の学生8名と教員1名が看護学部を訪問した。学術ワークショップでは慶熙大学の学生2名から研究計画の発表と韓国における医療システムについての発表がなされた。本学からは博士前期課程の学生による修士論文の中間報告、特定行為認定プログラムのカリキュラムについて紹介がなされた。医療施設見学に於いては、静岡の中山間地域の基幹病院における特定行為認定を受けた看護師達の役割を学ぶために、御殿場市の富士病院にて一日見学実習を行った。慶熙大学からは今後も是非このような交流を継続したいという希望が出された。 アルテベルデ応用科学大学(ベルギー王国)：アルテベルデ大学とは令和7年に大学間協定への格上げが実現した。12月には、短期大学部にて行われた歯科衛生教育学会に教員1名と学生1名が招聘され、看護学部と共催でワークショップが行われた。1月には看護学部から2名の教員がアルテベルデ応用科学大学を訪問、終末期ケア・緩和ケアワークショップに参画、発表を行った。アルテベルデ大学とは学生の卒業研究(国際比較研究)も行っており、学部を超えての学際的な学術コラボレーションが継続して推進されている。